ピグマリオン効果とは？期待した方が成果は上がる

ピグマリオン効果とは、人は期待されたように成果を残しがちと言う意味です。

親、先生や上司など、誰かに期待されると、期待される側は「期待されているな」と言う眼差しを認識し、その期待の応えようと、その期待された姿になろうと努力しがちと言う事らしいです。

職場で期待ゼロと思って接している社員が居れば、傾向として結果を残しにくくなり、期待すれば結果を出しやすくなると言う傾向になると言う事で、どのように接するのが良いのかは一目瞭然ですよね？

人間、繊細な生き物であるわけで、例えば、期待しているとは言いつつも、期待している風を装いつつも、じゃあ、他の社員を褒め称えてであるとか、他の社員と比べて自分とはあまりコミュニケーションを取ってくれていない、「実は期待されてない？あーやる気無くすわ」となったりもするわけです。

だからこそ、職場では極力フェアにと言う事も大事になってくるわけです。

他にも、ピグマリオン効果の応用として顧客と接する時に、「あなたは最高の顧客だ。時間を守り、フィードバックを下さり、我々のミスには盲目で、このままもこの素晴らしい顧客で居て下さい」と言うような期待を促すと、相手はその期待に応えようと、動機が働いたりするわけです。

ギリシャ神話。ピグマリオンと言う男は女性の姿をした像を彫刻しました。「この像が現実の女性の姿になったらな」と言う淡く儚い期待を抱いていた所、女神アフロディーテがその願いを叶えて、ピグマリオンの期待が現実になったとか。我々の世界でも同様、期待を少しでも披露すれば、誰かはそれに見合う誰かに変貌を遂げる事があるかもしれません。